

ハイボンファインプライマー 弱溶剤形 2 液エポキシ樹脂さび止め塗料

規格表示

特長

塗料性状

JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー（変性エポキシ樹脂プライマーおよび弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー） 弱溶剤系変性エポキシ樹脂

- 塗料用シンナーで希釈でき、塗装作業性にすぐれます。
- 塗り重ね乾燥時間 4 時間以上（23℃）でファインウレタン U100、1 液ファインウレタン U100 を塗装できますので、当日の上塗り塗装が可能です。
- 弱溶剤を使用しているため旧塗膜および素材を起こしたり、痛めることがほとんどありません。
- 従来の変性エポキシ樹脂塗料と同等の防錆性を有しています。

		塗料液	硬化剤			
色		グレー、赤さび色、ホワイト、黒さび色	茶褐色			
密度(g/cm ³)(23)		1.37 (グレー混合塗料) 1.44 (グレー塗料液) 0.90 (硬化剤)				
光 沢		-				
引 火 点		35	30			
発 火 点		240 (参考値)	432 (参考値)			
消防法 表 示	化 学 名	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリアー塗料			
	危険物区分	第4類 第2石油類(非水溶性)	第4類 第2石油類(非水溶性)			
	危険物等級	III (火気厳禁)	III (火気厳禁)			
有 機 溶 剤 区 分		第2種	第2種			
毒 劇 物 表 示		-	-			
有 害 物 表 示		エチルベンゼン 変性エポキシ樹脂 エポキシ樹脂	エチルベンゼン ポリアミドアミン			
ホルムアル デヒド	登録(認証)番号	N02135				
	区 分 表 示	F				
放散等級		https://toryo.or.jp				
国 連 / 指 針 番 号		1992/128	1993/128			
環 境 性 能	クロルリネン	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	9.8%	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	10.2%
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テレフタル酸	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイアゾノ	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	フェノール	配合せず	鉛	配合せず		
T V O C		32.8%				

- 塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
- 加熱残分(%) 6.9 (グレー混合塗料) 7.3 (グレー塗料液) 3.1 (硬化剤)

塗装基準

下地調整:

混合:

荷姿:

ポットライフ:

希釈剤:

塗装方法:

- 塗り替え時の素地調整は発錆部・劣化部は2種ケレンを、活膜部はサンドペーパー等で表面調整を行ってください。
- 2 液形のため、「塗料液：硬化剤 = 9：1（重量比）」に混合し、十分にかくはんしてください。
- 16kgセット(塗料液:硬化剤=14.4kg:1.6kg)、4kgセット(塗料液:硬化剤=3.6kg:0.4kg)
- 6時間(23℃)、8時間(5℃)、4時間(30℃)
- 塗料用シンナー-A、塗料用シンナー-SA

塗装方法	はけ、ローラー塗り	エアレスブレー塗り
希釈率	0～10%	0～5%
使用量	0.16kg/m ² /回	0.18kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	45μm	45μm
膜厚(ウェット)	95μm	95μm

- 上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- 一次圧0.4～0.5MPa 二次圧12MPa以上 チップNo.163-617、619など

エアレス条件:

乾燥時間:

	5	23	30
指触乾燥	2時間	1時間	30分
半硬化乾燥	6時間	3時間	2時間
塗り重ね乾燥	6時間以上10日以内	4時間以上7日以内	3時間以上5日以内

- 乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

エアレス条件:

一次圧0.4～0.5MPa 二次圧12MPa以上 チップ 163-617、619

注 意 事 項

- ・塗り重ね日数がオーバーした場合、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで目粗ししてから塗り重ねてください。
 - ・洗い溶剤はラッカーシンナーをご使用ください。
 - ・希釈直後、かくはんして少し重い(希釈が足りない)と感じる程度が適量です。
 - ・希釈時、シンナーをいれるとシンナーが浮いた状態になりますが、これは特殊樹脂によるものであり、問題ありませんのでそのままかくはんしてください。
 - ・乾燥は低温時において著しく低下し、乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生ずることがありますので5 以下の気温が連続する場合、施工しないでください。
 - ・強溶剤エポキシ樹脂塗料(ビュアエポキシ・変性エポキシ)の塗り重ねは、避けてください。
 - ・合成樹脂調合ペイント、強溶剤塗料の塗り重ねは翌日塗装をお願いします。
 - ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート (SDS) をご参照ください。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。